

2009年度予算の概要

昨秋からの国際的な金融経済危機が大学財政にも影響を及ぼし、収入面では授業料の0.7%改定に伴う学生生徒等納付金の増収を見込むほかは、寄付金や資産運用収入をはじめ、帰属収入の増加がほとんど見込めない状況にあります。

学生生徒等納付金は、授業料等の増収が見込まれ、総額では対前年度比2億9,700万円増の637億4,200万円となる見込みです。

入学検定料は総志願者数を約14万人として前年度より3,200万円減の46億7,600万円を見込み、証明手数料等を合わせた手数料総額では47億4,800万円となる見込みです。

寄付金は、後援会寄付金を2億円見込み、また、過去に受入れた募金のうち免税の関係で「日本私立学校振興・共済事業団」から2009年度に配付される「理工学部創設100周年記念研究教育強化事業募金」を3億7,000万円見込んだほか、指定寄付金を9億円見込みましたが、寄付金総額では対前年度比9億5,800万円減の21億円となる見込みです。

補助金については、経常費補助金を前年度予算と同額の90億円、研究設備・施設整備費補助金を3億9,100万円、東京都・埼玉県からの両高等学院への補助金を合計で5億3,700万円見込みました。補助金総額では、対前年度比3,900万円減の99億8,500万円を見込みました。事業収入は、前年度予算に比べて14億1,000万円減の64億1,300万円を見込みました。

これらの結果、帰属収入総額は前年度予算額を32億3,300万円下回る913億7,600万円となります。

支出面では、教員増員に伴う人件費の増加や、管理経費の増加などを見込みましたが、公的機関提携研究費等の教育研究経費の減少により、消費支出合計は前年度予算を4億2,000万円下回る896億1,800万円となります。

これらの収支状況から、帰属収支差額（帰属収入－消費支出）は17億5,800万円となり、当面の財政目標としている帰属収支差額の50億円以上の確保は、予算編成上できませんでした。

次に、基本金として支出する組入額の合計は、前年度より63億9,900万円減少し85億9,600万円となります。

第1号基本金として支出される校地・校舎・機械器具・備品・図書等の施設・設備関係の支出は、前年度に比べて53億500万円減少し120億4,700万円となる見込みです。この中には、各校舎耐震強化改修工事や所沢キャンパスA地区教室棟の新築工事等が盛り込まれています。

第2号基本金には、将来取得する固定資産に充てる金銭その他の資産の額として、施設整備資金へ20億円を組み入れています。なお、過去に積み立てた第2号基本金から施設建設費の支払いに充てるため54億9,400万円を取崩しています。このため、合計では34億9,400万円となっています。

第3号基本金は、奨学基金など基金として継続的に保持し、かつ、運用する金銭その他の資産の額であり、2009年度は4,200万円を支出する予定です。

以上から、消費収支差額は単年度で68億3,700万円の支出超過、累計では837億6,700万円の支出超過となる見込みです。

また資金面では、2009年度中に入金が見込まれる資金の総額は1,016億5,200万円で、これに前年度からの繰越支払資金（見込）228億4,700万円を加えると、収入総額は1,244億9,900万円となります。これに対して2009年度の事業活動に必要な見込まれる資金の総額は、1,036億500万円となります。これにより、2010年度へ繰り越される支払資金は208億9,400万円となる見込みです。

以上のとおり、厳しい予算編成となりましたが、2009年度の予算執行にあたっては、従来以上の経費節減に努めて帰属収支差額を確保し、財政基盤をより一段と強固なものとするよう努力していきます。

消費収支予算書

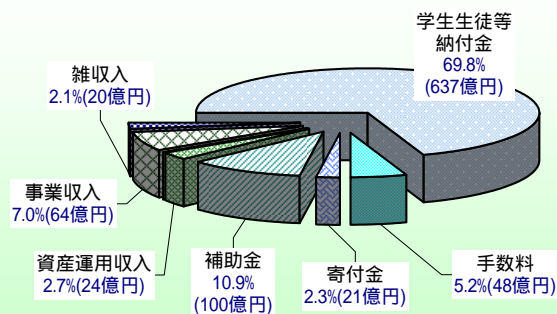
2009(平成21)年 4月 1日から
2010(平成22)年 3月31日まで

(単位 百万円)

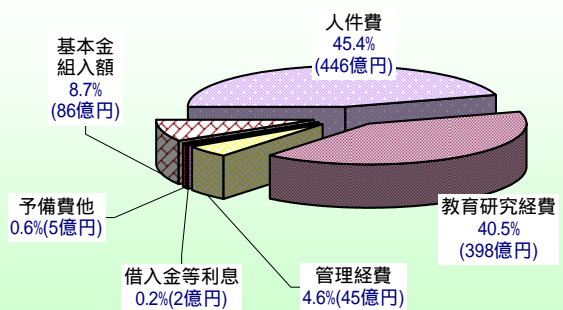
科 目	2009年度 予算額	2008年度 予算額	増減()
<消費収入の部>			
学生生徒等納付金	63,742	63,445	297
手数料	4,749	4,783	34
寄付金	2,100	3,059	959
補助金	9,985	10,025	40
資産運用収入	2,433	3,672	1,239
事業収入	6,414	7,824	1,410
雑収入	1,953	1,802	151
帰属収入合計	91,376	94,610	3,234
基本金組入額合計	8,596	14,995	6,399
消費収入の部合計	82,780	79,615	3,165
<消費支出の部>			
人件費	44,568	44,246	322
教育研究経費	39,775	40,491	716
管理経費	4,556	4,341	215
借入金等利息	178	222	44
資産処分差額	184	182	2
徴収不能引当金繰入額	57	57	0
予備費	300	500	200
消費支出の部合計	89,618	90,039	421
当年度消費支出超過額	6,838	10,424	
前年度繰越消費支出超過額(見込)	76,929	69,112	
翌年度繰越消費支出超過額	83,767	79,536	

消費収支の構成比率

帰属収入 914億円



消費支出 + 基本金組入額 982億円



〔資金収支予算書の概要〕

資金収支予算書は、当該会計年度における法人全体の教育研究等諸活動に対応するすべての資金の動き、いわゆる資金繰りの状況を示すものです。

したがって、収入の部には、学生生徒等納付金収入、手数料収入、寄付金収入、補助金収入、事業収入等法人に帰属する収入のほか、建設工事の財源の一部としての借入金等収入、当年度末に受け入れる次年度分学費等の前受金収入、特定預金から引き出して支払いに充当する退職給与引当資産からの繰入収入等が計上されています。

一方、支出の部には、退職金を含む教職員の人件費支出、教育研究経費支出、管理経費支出、借入金等利息支出等の諸経費のほか、借入金等返済支出、土地・建物等の施設関係支出、機械器具・備品・図書等の設備関係支出等が計上されています。

これらの収入および支出の中には、土地信託事業に伴う収入・支出も含まれています。

なお、学生生徒等納付金収入には前年度末に入金した新入生の入学手続時の納付金が含まれていますが、これは当年度の資金収入ではないので収入の部下段に記載の資金収入調整勘定で控除しています。同様に、支出額には期末に予想される未払分も含まれていますが、当年度の資金支出ではないので資金支出調整勘定で控除しています。

(1) 収入の部(主なもの)

学生生徒等納付金収入 637億4,245万円(2億9,751万円増)
 授業料収入 487億4,777万円(2億8,551万円増)
 0.7%の改定率による改定に伴う増収が主なものです。
 入学金収入 44億5,311万円(1,099万円減)
 大学院・学部・高等学院等全体で、13,938名の入学者を見込みました。
 施設設備資金収入 85億5,719万円(2,196万円増)
 手数料収入 47億4,896万円(3,359万円減)
 入学検定料収入 46億7,646万円(3,209万円減)
 2009年度中に受け入れる2010年度入学志願者の検定料収入です。
 寄付金収入 21億32万円(9億5,828万円減)
 特別寄付金収入 21億32万円(9億5,828万円減)
 高等学院教育環境整備・充実事業募金2億2,000万円および指定寄付金9億円等です。

早稲田大学高等学院増築工事完成予想図
(2009年度竣工)



補助金収入 99億8,540万円(3,993万円減)
 国庫補助金収入 94億2,309万円(3,410万円減)
 経常費補助金 90億円、研究設備整備費補助金2億566万円等です。
 地方公共団体補助金収入 5億5,481万円(1,033万円減)
 高等学院および本庄高等学院に対する補助金が主なもので、東京都経常費補助金4億円、埼玉県学校運営費補助金1億3,700万円を見込んでいます。
 資産運用収入 24億3,280万円(12億3,970万円減)
 第3号基本金運用収入 6億9,956万円(176万円増)
 奨学基金、国際交流基金、研究助成基金等の基金へ組み入れる受取利息等の見込額を計上しています。これらの果

実収入は、奨学金、外国大学との国際交流経費、特定課題研究助成費等に充当されるものです。

施設設備利用料収入 6億2,817万円(3,024万円増)

土地・家屋等の賃貸料収入および教室・セミナーハウス等の利用料収入です。

事業収入 64億1,370万円(14億1,059万円減)

補助活動収入 1億5,029万円(327万円減)

東伏見学生寮、東伏見紺碧寮、市嶋記念千駄木寮、本庄ドミリーの寮費収入です。

附属事業収入 12億3,453万円(4,982万円減)

エクステンションセンターのオープンカレッジ講座料収入、ファイナンス研究センターのビジネス情報アカデミー講座料収入、総合健康教育センターの健康保険診療費の収入等見込額です。

受託事業収入 40億1,640万円(15億7,759万円減)

理工学術院総合研究所、先端研究機構、ナノ理工学研究機構、IT研究機構、総合研究機構、国際情報通信研究センター、環境総合研究センター等の受託研究料等の見込額です。

土地信託賃貸料収入 9億7,234万円(2億1,056万円増)

土地信託事業の賃料および共益費の収入です。

雑収入 19億5,281万円(1億5,081万円増)

退職金財団等交付金収入 10億5,229万円(3,287万円増)

私立大学退職金財団等からの2009年度退職者に対する交付金の見込額です。

その他の雑収入 8億4,874万円(1億1,793万円増)

早稲田カード・学生カード提携手数料、校友会からの業務受託収入、教材売上代等が主な収入です。

借入金等収入 15億円(15億円増)

学校債収入 15億円(15億円増)

主として法人を対象とした学校債の起債予定額です。

前受金収入 124億1,562万円(1,131万円増)

主に2009年度末に入金が見込まれる2010年度新入生の学生生徒等納付金です。

その他の収入 98億6,877万円(15億4,108万円減)

退職給与引当資産からの繰入収入

12億4,761万円(5,235万円増)

退職金の支払いに充てるため、引当資産から受け入れるものです。

校友会奨学資金引当資産からの繰入収入

1億5,076万円(539万円増)

校友会奨学金の支払いに充てるため、引当資産から受け入れるものです。

施設整備資金等引当資産からの繰入収入

54億9,400万円(35億9,400万円増)

現キャンパス整備の支払いに充てるため、引当資産から受け入れるものです。

特定目的引当資産からの繰入収入

5億7,426万円(1,696万円増)

早稲田カード奨学金、文学部奨学金、人間科学部奨学金、教職員給付奨学金等の支払いなどに充てるため、引当資産から受け入れるものです。

前期末未収入金収入 15億1,353万円(29億5,624万円減)

2008年度末において未収が予想される学生生徒等納付金および補助金等の2009年度入金見込額です。

長期貸付金回収収入 2億6,867万円(2,390万円増)

主にシンガポール現地法人貸付金や教職員厚生会貸付金等の回収予定額です。

奨学貸付金回収収入 6,897万円(2,796万円減)

奨学金貸与者からの回収予定額です。

資金収入調整勘定 135億865万円(2億3,249万円減)

期末未収入金 13億4,964万円(1億305万円減)

学生生徒等納付金収入、補助金収入および退職金財団等交付金収入のうち、2009年度末において予想される未収入分です。

前期末前受金 120億7,797万円(1億4,698万円減)

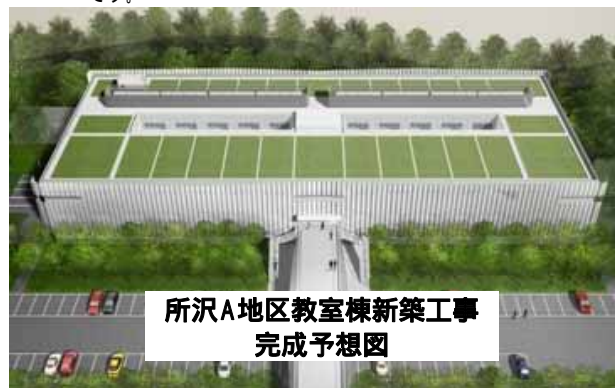
2008年度末に入学手続をする2009年度新入生の学費前受分です。

前期末土地信託賃貸料前受金 8,103万円(1,754万円増)
2008年度末に入金される2009年4月分の土地信託賃貸料
前受け分です。

(2) 支出の部(主なもの)

人件費支出 458億1,385万円(3億7,406万円増)
教員人件費支出 315億8,915万円(2億4,292万円増)
若手教員の増員等、教学充実のための教員の増員分を見込んでいます。
職員人件費支出 125億4,979万円(7,277万円増)
退職金支出 12億4,761万円(5,235万円増)
定年退職者41名および中途退職者に支払う退職金の見込額です。
退職附加年金支出 3億94万円(51万円増)
選択定年退職者のうち、退職附加年金支給者に対する2009年度支給見込額です。
教育研究経費支出 309億6,446万円(6億7,463万円減)
大学院・学部・高等学院・本庄高等学院・芸術学校・川口芸術学校・研究所・図書館・学生部(セミナーハウス・学生寮含む)等、教育研究に携わる部門の諸経費です。
光熱水費支出 18億2,947万円(5,548万円減)
電気料11億4,564万円、水道料3億8,188万円、燃料費2億4,822万円等です。
委託費支出 117億7,027万円(1億9,012万円減)
主なものは、建物管理・清掃費、警備業務委託費、人事業務委託費等です。
賃借料支出 17億5,617万円(1億4,311万円減)
主なものは、土地建物賃借料、機械器具賃借料等です。
奨学費支出 35億4,189万円(2億5,527万円増)
大隈記念奨学金、小野梓記念奨学金および篤志家の寄付により設定された奨学金等から学生・生徒に給付される奨学金や学生交換協定奨学金です。
給付対象人員は、創立125周年記念奨学金1,587名、入学試験の成績上位者を対象とした大隈記念特別奨学金203名、大隈記念奨学金167名、小野梓記念奨学金906名のほか、小野梓記念外国人留学生奨学金103名、大学院博士後期課程若手研究者養成奨学金198名、大学院後期課程奨学金472名、私費外国人留学生授業料減免奨学金1,094名、校友会奨学金451名、入試前予約採用奨学金40名等を予定しています。
福利費支出 7億8,395万円(1,490万円減)
主なものは、学生指導費、学生衛生管理費、セミナーハウス管理費等です。
管理経費支出 36億259万円(2億4,820万円増)
主として法人運営にかかわる部門の経費です。
委託費支出 10億2,204万円(6,762万円増)
主なものは、建物管理・清掃費、人事業務委託費、連絡バス運行委託費等です。
公租公課支出 2億4,947万円(221万円増)
納付消費税、固定資産税・都市計画税等の支出です。
広告費支出 1億8,236万円(297万円増)
学生募集等にかかわる広告費の支出です。
土地信託経費支出 3億1,225万円(840万円増)
土地信託事業の施設にかかわる施設管理費、信託管理費、修繕費、公租公課等です。
借入金等利息支出 1億7,798万円(4,365万円減)
借入金利息支出 1億6,648万円(4,291万円減)
日本私立学校振興・共済事業団および市中銀行等からの施設整備のための借入金に対する支払利息です。
土地信託借入金利息支出 1,149万円(73万円減)
土地信託事業による施設建設のための市中銀行からの借入金に対する支払利息です。
借入金等返済支出 7億7,997万円(6億30万円減)
借入金返済支出 6億9,497万円(6億20万円減)
借入金の返済額であり、日本私立学校振興・共済事業団からの借入金の返済額5億2,437万円、市中銀行からの借入金の返済額1億7,000万円が主なものです。

施設関係支出 114億6,005万円(52億8,114万円減)
建物支出 109億6,155万円(2億3,634万円減)
主なものは、所沢A地区教室棟新築工事、戸山キャンパス再整備工事、高等学院増築工事、各校舎耐震改修工事等です。



構築物支出 3億7,850万円(4,479万円減)
主なものは、所沢A地区隣接地テニスコート整備工事、各所運動施設整備工事、構内外構施設等整備工事等です。
設備関係支出 53億7,510万円(12億8,089万円増)
教育研究用機器備品支出 47億1,691万円(13億1,102万円増)
図書支出 6億4,438万円(2,921万円減)
資産運用支出 37億3,604万円(4億3,198万円増)
退職附加年金引当資産への繰入支出 2億2,649万円(971万円減)
選択定年退職者への退職附加年金の支給のために引当資産に繰り入れるものです。
施設整備資金等引当資産への繰入支出 20億円(前年度と同額)
将来の現キャンパス整備の支払いに充てるため、引当資産に繰り入れるものです。
第3号基本金引当資産支出 4,272万円(1,123万円減)
各種奨学金基金、国際交流基金、研究助成基金、教職員厚生基金等の運用による受取利息および寄付金等から、各種奨学金、国際交流経費、研究助成経費等の支払額を差し引いた残額を引当資産に繰り入れるものです。
特定目的引当資産への繰入支出 9億6,788万円(2億5,064万円増)
早稲田カード奨学金、文学部奨学金、人間科学部奨学金、教職員給付奨学金などへの寄付金等のほか、貸与奨学金の回収予定額を引当資産に繰り入れるものです。
その他の支出 88億2,015万円(11億1,657万円増)
長期貸付金支払支出 9,872万円(5億7,200万円減)
教職員に対して貸付ける教職員厚生会貸付金です。
資金支出調整勘定 74億2,514万円(15億7,498万円増)
期末未払金 71億4,053万円(16億9,518万円増)
人件費、物件費等のうち、2009年度末において予想される未払分です。

【消費収支予算書の概要】

消費収支予算書は、帰属収入(負債とならない収入)から、校舎の建設費や機械器具・備品・図書等の資本的支出に充当する額および奨学金等の諸基金に充当する額(基本金組入額)を控除して、残りを消費収入として消費支出との均衡の状態、すなわち経営状況を示すものです。
したがって、資金収支予算書の収入から学校法人の帰属収入とならない借入金等収入および資金の動きだけを示す前受金収入、その他の収入等は除かれます。一方、支出から借入金等返済支出、施設関係支出、設備関係支出等が除かれるとともに、消費支出として退職給与引当金繰入額や減価償却額等が計上されています。

(資金収支予算書で説明したものは省略します)

基本金組入額は、校地・校舎等の施設関係、機械器具・備品・図書等の設備関係、過去に施設建設のために借り入れた借入金の返済、および奨学基金等に支出するものであり、当年度は**85億9,607万円**となる見込みです。

教育研究経費・管理経費について、資金収支予算書に計上されている金額より大きくなっているのは、減価償却額が教育研究経費で**88億1,062万円**、管理経費で**5億2,510万円**、土地信託経費で**4億2,854万円**含まれているためです。

徴収不能引当金繰入額 **5,690万円** (10万円増)

2009年度授業料等学費の未収見込額のうち次年度徴収不能額を推定したものです。

【収益事業会計予算の概要】

収益事業会計予算書は、駒沢ガーデンハウスの専有部分(25戸)の賃貸による収益と費用を表わしたものです。

(1) 営業損益

営業収益として、建物賃貸料収入**1億7,613万円**および施設設備利用料収入**1,170万円**の合計**1億8,783万円**を計上しています。

営業費用として、建物管理委託費、光熱水費、減価償却費および公租公課等を計上し、合計で**1億4,627万円**となっています。

その結果、営業利益として**4,156万円**が見込まれます。

(2) 営業外損益

営業外収益として、預かり敷金等を公社債等で運用した受取利息・配当金**316万円**を計上しています。

(3) 経常損益、当期損益

営業利益に上記の営業外収益を加えた結果、経常利益が**4,472万円**となり、学校会計繰入金支出**4,000万円**を控除した当期純利益は**472万円**となる見込みです。

【土地信託関係予算の概要】

土地信託事業にかかわる予算については各科目の説明で触れましたが、これをまとめると次のようになります。施設のテナントからの土地信託賃貸料・共益費収入が**9億7,234万円**で、これに対して施設管理費、信託管理費、損害保険料、公租公課等の土地信託経費が**7億4,080万円**、土地信託借入金利息が**1,149万円**となっています。

土地信託賃貸料・共益費収入から、減価償却額を除いた土地信託経費と土地信託借入金の元利金支払額とを差し引いた残額の**5億6,359万円**は、大隈会館建設のために借り入れた借入金の償還財源になります。なお、土地信託事業に係る借入金残高は、計画通り着実に減少してきています。

以 上

財務部では以下のホームページに予算決算をはじめ財務情報を開示しています。

<http://www.waseda.jp/zaimu/index-j.html>